

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 5 年 12 月 28 日(2023.12.28)

【公開番号】特開 2022-157880(P2022-157880A)
【公開日】令和 4 年 10 月 14 日(2022.10.14)
【年通号数】公開公報(特許)2022-189
【出願番号】特願 2021-62358(P2021-62358)
【国際特許分類】

B 3 2 B 3/24(2006.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

B 2 3 K 26/352(2014.01)

【F I】

B 3 2 B 3/24 Z

B 3 2 B 7/023

B 2 3 K 26/352

10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 12 月 20 日(2023.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透光性を有する表皮層と、

前記表皮層の裏側に配置され、前記表皮層よりも低い透光性を有する中間層と、

前記中間層の裏側に配置され、前記中間層よりも低い透光性を有する意匠層と、

前記意匠層の裏面に開口する少なくとも一つの凹部と、

を備える表皮材であって、

前記凹部の底部は、前記中間層に配置される中間層到達部を有することを特徴とする表皮材。

【請求項 2】

前記凹部の底部は、基底部と、前記基底部よりも深い深底部と、を有する請求項 1 に記載の表皮材。

【請求項 3】

前記凹部の側面は、前記表皮層の表面の面法線方向に対して交差する方向に延在する傾斜部を有する請求項 2 に記載の表皮材。

【請求項 4】

前記凹部の側面は、前記表皮層の表面の面法線方向に対して交差する方向に延在する傾斜部を有する請求項 1 に記載の表皮材。

【請求項 5】

前記凹部の側面は、延在方向が異なる複数の前記傾斜部を有する請求項 3 または請求項 4 に記載の表皮材。

【請求項 6】

前記表皮層の表面の面法線方向から見て、

前記凹部は、基幅部と、前記基幅部よりも幅が広い広幅部と、を有する請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の表皮材。

【請求項 7】

20

30

40

50

前記凹部は、レーザー加工により形成される請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載の表皮材。

10

20

30

40

50